



令和3年10月19日

東京都千代田区四番町5番地3
科学技術振興機構（JST）
Tel：03-5214-8404（広報課）
URL <https://www.jst.go.jp>

「国際青少年サイエンス交流事業（さくらサイエンスプログラム）」 2021年度第2回公募における交流計画の採択について

JST（理事長 濱口 道成）は、「国際青少年サイエンス交流事業（さくらサイエンスプログラム）」の公募事業において、2021年度第2回公募により採択する交流計画を決定しました（別紙1）。

さくらサイエンスプログラムは、2014年の開始以降、アジアを中心とする国・地域から、これまでに3万3千人を超える青少年を招へいしてきました。2021年度からは対象を原則として、欧州、中東、北米などを含むすべての国・地域に拡大し、自然科学分野に加えて人文・社会科学分野の交流も対象としました。また、オンラインによる交流を支援する「さくらオンラインプログラム」の公募を新たに開始しました。

2021年度第2回公募では、2021年7月1日（木）から8月31日（火）までの期間に合計36件の申請があり、さくらサイエンスプログラム選考委員会（委員長：三木千壽 東京都市大学 学長）の協議を経て、さくら招へいプログラムに17件（申請件数17件）、さくらオンラインプログラムに19件（申請件数19件）の採択を決定しました（別紙1、2、3）。

新型コロナウイルス感染拡大への対応として、さくら招へいプログラムにおける交流計画の実施については、日本、送出し国、受入れ機関、送出し機関の出入国・行動制限などに関わる方針・規制などに適合しているかを受入れ機関が確認し、JSTが合意することとしています。

「さくらサイエンスプログラム」のホームページには、関連情報や過去の活動報告も掲載しています。

URL <https://ssp.jst.go.jp/>

<添付資料>

- 別紙1：2021年度第2回公募採択結果 交流計画一覧
- 別紙2：2021年度第2回公募採択結果 国・地域／コース／属性別人数
- 別紙3：2021年度第2回公募採択結果 機関別 採択件数
- 参 考：「国際青少年サイエンス交流事業」概要

<お問い合わせ先>

科学技術振興機構 経営企画部 さくらサイエンスプログラム推進本部
〒102-8666 東京都千代田区四番町5番地3
石黒 傑（イシグロ スグル）
Tel：03-5214-8997 Fax：03-5214-8445
E-mail：ssp.press@jst.go.jp

2021年度第2回公募採択結果 交流計画一覧

【さくら招へいプログラム】

※新規送出し機関名は赤字

別紙1

No.	コース	受入れ機関名	送出し国・地域名	送出し機関名・属性別人数	交流計画のテーマ
1	A. 科学技術体験	朝日大学	中国：11人	[南昌大学] 大学生：10人、教員：1人	歯科医学分野におけるSociety 5.0 で実現する社会を目指して
2	A. 科学技術体験	桜美林大学	オランダ：9人 フィンランド：8人	[ロッテルダム応用科学大学] 大学生：8人、教員：1人 [東フィンランド大学] 大学生：7人、教員：1人	社会課題に挑む日本の中小企業～女性経営者・社員がもたらす多様性の価値～
3	A. 科学技術体験	桜美林大学	マレーシア：9人 フィリピン：8人	[マレーシア国民大学] 大学生：8人、教員：1人 [セントラルフィリピン大学] 大学生：7人、教員：1人	地方創生の実践的事例～「空港×地域観光資源×ホテル」と「人材誘致×ワーケーション」で復活・活性化する地方の好事例～
4	A. 科学技術体験	桜美林大学	マレーシア：9人 フィリピン：8人	[マラ工科大学ペナン校] 大学生：8人、教員：1人 [フィリピン科学技術大学] 大学生：7人、教員：1人	ESG経営と先端的アジア発イノベーション
5	A. 科学技術体験	桜美林大学	コスタリカ：11人	[コスタリカ国立大学] 大学生：10人、教員：1人	スポーツ医学とマネジメントを科学する コスタリカ×日本野球交流
6	A. 科学技術体験	桜美林大学	中国：11人	[北京第二外国語学院中瑞酒店管理學院] 大学生：10人、教員：1人	高齢者福祉における先端事例研修-ICTの活用や大学連携型CCRCを参考に-
7	A. 科学技術体験	桜美林大学	中国：11人	[嶺南大学] 大学生：10人、教員：1人	日本のサブカルチャーを代表するアニメーション～手書きアニメーション及び現代3DCGとの融合～
8	A. 科学技術体験	桜美林大学	アメリカ合衆国：11人	[タイガード高等学校] 大学生：10人、教員：1人	東北大震災から防災・減災への取り組みを学ぶプログラム
9	C. 科学技術研修	九州工業大学	タイ：9人	[モンクット王工科大学北バンコク校] 大学生：7人、教員：2人	学生交流によるロボティクスPBL協働実習とカリキュラムの構築
10	B. 共同研究活動	京都大学	シンガポール：1人	[シンガポール科学技術研究庁] 研究者：1人	トライボロジー分野における先進固液界面分析を軸とした国際プロジェクト発足交流
11	A. 科学技術体験	千葉大学	韓国：10人	[釜慶大学校] 大学生：5人、大学院生：5人	無線伝送技術と人工知能に関する最先端科学技術体験

No.	コース	受入れ機関名	送出国・地域名	送出国・属性別人数	交流計画のテーマ
12	B. 共同研究活動	東京大学	中国：11人	[同济大学] 大学生：1人、大学院生：4人、教員：1人 [浙江大学] 大学院生：1人、教員：1人 [中国石油大学（華東）] 大学生：1人 [桂林電子科技大学] 大学院生：1人 [温州肯恩大学] 大学生：1人	大学キャンパスのカーボンニュートラルに関する日中学生の共同ワークショップ
13	B. 共同研究活動	長岡技術科学大学	インド：3人	[インド工科大学カラグプール校] 教員：1人、研究者：2人	階層的ネットワークポリマーの創製
14	A. 科学技術体験	横浜市立大学	マレーシア：11人	[マレーシアサインズ大学] 大学生：10人、教員：1人	持続可能な都市発展のための良好な都市環境形成と社会の合意形成の技術を学ぶ
15	A. 科学技術体験	一関工業高等専門学校	フランス：11人	[ECAM-EPMI] 大学生：10人、その他：1人	フランスECAM-EPMIと一関工業高等専門学校との研究プログラムを主体とする学生交流
16	C. 科学技術研修	サレジオ工業高等専門学校	フィリピン：11人	[カリタスドンボスコスクール] 高校生：10人、教員：1人	海外短期モノづくり留学生に対するロボット関連教育と技術修得
17	A. 科学技術体験	立命館中学校・高等学校	中国：3人 韓国：3人 シンガポール：4人 タイ：8人	[優才(楊殷有娣)書院] 高校生：2人、教員：1人 [KAIST付属韓国科学アカデミー] 高校生：2人、教員：1人 [ナショナルジュニアカレッジ] 高校生：3人、教員：1人 [マヒドンウィッタヤンソーンスクール] 高校生：3人、教員：1人 [チットラダスクール] 高校生：3人、教員：1人	高校生による国際共同研究の推進

合計17件 受入れ機関：11機関（12カ国・地域）

2021年度第2回公募採択結果 交流計画一覧

【さくらオンラインプログラム】

※新規参加機関名は赤字

No.	実施機関名	参加国・地域名	参加機関名・属性別人数	交流計画のテーマ
1	足利大学	フィリピン：10人	[マリアーノマルコス州立大学] 大学生：10人	作って体得する再生可能エネルギー電源
2	大阪大学	中国：10人	[華南理工大学] 大学生：9人、教員：1人	SDGsに関する高分子最先端技術を学ぶオンライン交流
3	岡山理科大学	フィリピン：22人	[マプア大学] 大学生：15人、大学院生：5人、教員：2人	フィールド調査を共有する文化遺産の保存と活用に関するオンラインコロキウム
4	岐阜保健大学	英国：27人	[エセックス大学] 大学生：20人、大学院生：3人、教員：4人	日本とイギリスのコロナ禍における保健医療の状況と実践、課題、展望についての検討
5	高知大学	マレーシア：6人 タイ：8人 ベトナム：2人	[マレーシアアボトラ大学] 大学生：4人 [マレーシアサラワク大学] 大学生：2人 [カセサート大学] 大学生：4人 [コンケン大学] 大学生：2人 [ラジャマンガラ工科大学スリビジャヤ校] 大学生：2人 [ハノイ国立教育大学] 大学生：2人	一次産業イノベーションを実現するデータサイエンスを体験する
6	高知大学	フィリピン：11人 台湾：1人	[フィリピン農業省漁業水産資源局] 研究者：3人 [フィリピン大学ビサヤ校] 大学院生：1人 [フィリピン大学ディリマン校] 大学院生：1人 [サンカルロス大学] 大学院生：1人 [バルティド州立大学] 大学院生：1人 [バタンガス州立大学] 大学院生：3人 [ピコール大学] 大学院生：1人 [国立中山大学] 大学院生：1人	沿岸域の総合的管理に関する日本の先進的取り組みを学ぶ体験交流
7	神戸情報大学院大学	中国：18人	[安徽中薬大学] 大学生：8人、大学院生：6人、教員：4人	医療分野でのICT活用について
8	東海大学	サウジアラビア：21人	[エファット大学] 大学生：20人、教員：1人	持続可能な社会を見据えたロボティクスとAI：技術と人が共生するアラブ・日本 互恵型未来社会を描く
9	東京大学	中国：10人	[中国石油大学（華東）] 大学生：3人、大学院生：6人、教員：1人	環境分野における日本の先端科学について学ぶ体験交流

No.	実施機関名	参加国・地域名	参加機関名・属性別人数	交流計画のテーマ
10	東京理科大学	中国：15人	[曲阜師範大学] 大学生：5人、大学院生：10人	アクティブラーニングを取り入れた日本型理科教員養成の方法論
11	東北工業大学	台湾：10人	[中原大学] 大学生：8人、教員：2人	日本と台湾における卒業設計のクロスエスキース
12	長岡技術科学大学	ベトナム：24人	[ダナン大学工科大学] 大学生：5人、大学院生：2人、教員：1人 [ベトナム国立農業大学] 大学生：5人、大学院生：2人、教員：1人 [ハノイ工科大学] 大学生：5人、大学院生：2人、教員：1人	生命と技術：SDG9で世界を牽引するハブ大学の挑戦
13	北海道大学	中国：20人	[上海交通大学] 大学生：5人、大学院生：5人、教員：10人	日本と中国における看護活動の課題共有と協働的取り組みの創造 一人々の健康を守り、新しい時代を目指し、夢への道を築く
14	横浜国立大学	インド：88人	[アンナ大学] 大学生：4人、大学院生：6人、ポスドク：1人、教員：2人、研究者：3人 [インド工科大学グワハティ校] 大学生：3人、大学院生：8人、ポスドク：2人、教員：3人、研究者：2人 [VIT大学] 大学生：4人、大学院生：6人、ポスドク：1人、教員：2人、研究者：3人 [パンジャブ大学] 大学生：5人、大学院生：8人、ポスドク：2人、教員：3人、研究者：2人 [インド工科大学カンパール校] 大学生：3人、大学院生：8人、ポスドク：2人、教員：3人、研究者：2人	SX（サステナビリティ・トランスフォーメーション）を目指したリレー式日印交流シンポジウム
15	大学共同利用機関法人 情報・システム研究機構	中国：4人 台湾：2人 タイ：2人 ベトナム：2人	[中国科学技術大学] 大学生：1人、大学院生：1人 [上海交通大学] 大学生：1人、大学院生：1人 [国立清華大学] 大学生：1人、大学院生：1人 [チュロンコン大学] 大学生：1人、大学院生：1人 [ハノイ工科大学] 大学生：1人、大学院生：1人	情報学分野の若手研究者育成を通じた持続的な研究交流
16	熊本県水俣市	中国：5人 台湾：5人 タイ：2人 ベトナム：4人	[清華大学] 大学院生：3人 [中国科学院大学] 大学院生：2人 [国立台北科技大学] 大学院生：5人 [カセサート大学] 大学院生：2人 [ベトナム国家大学ハノイ校日越大学] 大学院生：4人	水俣の教訓と地域の現状及び課題を理解し、地域社会の持続可能性を考える
17	富山県	インド：25人	[アチャラナガージュナ大学] 大学生：5人、教員：1人 [アンドラ大学] 大学生：7人、教員：1人 [シュリパドマヴァティ女子大学] 大学生：10人、教員：1人	医薬分野を中心とした、産学官連携によるインド・アンドラプラデシュ州との交流促進
18	インド インターナショナルスクール インジャパン	インド：10人	[アルコーンインターナショナルスクール] 高校生：10人	STEM Robotics Workshop
19	神戸電子専門学校	中国：10人	[河北外国語学院] 大学生：10人	日本のアニメ制作について

合計19件 実施機関：18機関（9カ国・地域）

2021年度第2回公募採択結果 国・地域／コース／属性別人数

別紙2

新規国・地域：オランダ王国、フランス共和国、アメリカ合衆国、コスタリカ共和国

【さくら招へいプログラム】

(単位：人)

国・地域		コース・属性	コース			招へい者属性					合計	
			A. 科学技術体験	B. 共同研究活動	C. 科学技術研修	高校生	大学生	大学院生	教員	研究者		その他
東南アジア	シンガポール共和国		4	1		3			1	1		5
	タイ王国		8		9	6	7		4			17
	フィリピン共和国		16		11	10	14		3			27
	マレーシア		29				26		3			29
南西アジア	インド共和国			3					1	2		3
東アジア	大韓民国		13			2	5	5	1			13
	中華人民共和国		36	11		2	33	6	6			47
欧州	フィンランド共和国		8				7		1			8
	オランダ王国		9				8		1			9
	フランス共和国		11				10				1	11
北米	アメリカ合衆国		11				10		1			11
中南米	コスタリカ共和国		11				10		1			11
合計			156	15	20	23	130	11	23	3	1	191

2021年度第2回公募採択結果 国・地域／属性別人数

新規国・地域：サウジアラビア王国、英国

【さくらオンラインプログラム】

(単位：人)

国・地域		属性	参加者属性					合計	
			高校生	大学生	大学院生	ポスドク	教員		研究者
東南アジア	タイ王国			9	3				12
	フィリピン共和国			25	13		2	3	43
	ベトナム社会主義共和国			18	11		3		32
	マレーシア			6					6
南西アジア	インド共和国	10	41	36	8	16	12	123	
東アジア	台湾			9	7		2		18
	中華人民共和国			42	34		16		92
中東	サウジアラビア王国			20			1		21
欧州	英国			20	3		4		27
合計			10	190	107	8	44	15	374

2021年度第2回公募採択結果 機関別 採択件数

別紙3

【さくら招へいプログラム】

(単位：件)

大学

No.	受入れ機関名	採択数
1	九州工業大学	1
2	京都大学	1
3	千葉大学	1
4	東京大学	1
5	長岡技術科学大学	1
6	横浜市立大学	1
7	朝日大学	1
8	桜美林大学	7
	計	14

高専

No.	受入れ機関名	採択数
1	一関工業高等専門学校	1
2	サレジオ工業高等専門学校	1
	計	2

高校

No.	受入れ機関名	採択数
1	立命館中学校・高等学校	1
	計	1

採択機関数：11機関

採択件数：17件

2021年度第2回公募採択結果 機関別 採択件数

※新規実施機関名は赤字

【さくらオンラインプログラム】

(単位：件)

大学

No.	実施機関名	採択数
1	大阪大学	1
2	高知大学	2
3	東京大学	1
4	長岡技術科学大学	1
5	北海道大学	1
6	横浜国立大学	1
7	足利大学	1
8	岡山理科大学	1
9	岐阜保健大学	1
10	神戸情報大学院大学	1
11	東海大学	1
12	東京理科大学	1
13	東北工業大学	1
	計	14

法人

No.	実施機関名	採択数
1	大学共同利用機関法人情報・システム研究機構	1
	計	1

自治体

No.	実施機関名	採択数
1	熊本県水俣市	1
2	富山県	1
	計	2

その他

No.	実施機関名	採択数
1	インディアインターナショナルスクールインジャパン	1
2	神戸電子専門学校	1
	計	2

採択機関数：18機関

採択件数：19件

「国際青少年サイエンス交流事業」概要

令和3年10月19日現在

1. 事業の目的

「国際青少年サイエンス交流事業（さくらサイエンスプログラム）」は、JSTが、産学官の緊密な連携により、海外の国・地域の優秀な青少年に日本の先端的な科学技術に触れる機会を提供すること（科学技術交流）を通して、

- (1) 科学技術イノベーションに貢献しうる優秀な人材の養成・確保および継続的交流
- (2) 日本の教育研究機関のグローバル化
- (3) 日本と海外の国・地域との友好関係の強化

に貢献し、ひいては、日本および世界の科学技術・イノベーションの発展に寄与することを目的とするものです。

2. 一般公募プログラム

【さくら招へいプログラム】

交流計画の目的や内容に応じて、科学技術体験コース（Aコース）、共同研究活動コース（Bコース）、科学技術研修コース（Cコース）から選択します。招へい前・後にオンライン交流を付加した実施を推奨します。招へいの実施が困難に至った際は、オンラインによってその代替とすることを採択の要件とします。

(1) 科学技術体験コース（Aコース）

日本の先端的な科学技術に触れる機会と日本の研究者・学生などとの交流体験を通して、科学技術分野における継続的な交流を促進するものです。

- ・滞在期間：原則として上限7日間となります。
- ・招へい人数（引率者を含まず）：単一機関から招へいする場合は、10人を限度とし、複数の機関から招へいする場合は15人を限度（ただし、1機関からの招へいが10人を超えないこと）とします。

(2) 共同研究活動コース（Bコース）

国際共同研究のテーマ若しくは計画の策定、予備的な実験などの共同研究を開始する活動、あるいは具体的な共同研究に参加させる活動を対象とします。

- ・滞在期間：原則として上限3週間となります。
- ・招へい人数（引率者を含まず）：原則として10人を限度とします。

(3) 科学技術研修コース（Cコース）

送出し国・地域のニーズあるいは地球規模課題の解決に資する科学技術に関する具体的な技術・能力の習得機会を提供する活動を対象とします。

- ・滞在期間：原則として上限10日間となります。
- ・招へい人数（引率者を含まず）：原則として25人を限度とします（複数の国・地域から招へいする場合）。

※なお、1つの国・地域から招へいする場合の招へい人数は15人、1つの国・地域かつ1機関からの招へいの場合の招へい人数は10人を限度とします。

【さくらオンラインプログラム】

オンラインだからこそできるシリーズ的・継続的に実施する交流。日本の実施機関と海外の参加機関によるオンライン交流を計5日以上実施します。

3. 対象とする国・地域

原則としてすべての国・地域を対象とします。

4. 対象とする分野・テーマ

以下のいずれかに該当するものを対象とします。

- (1) 自然科学分野の交流
- (2) 経済社会の諸課題を理解するための取り組みや生活の向上などをテーマとする人文・社会科学分野の交流

5. 招へい者・参加者の要件

対象は、高校生、大学生、大学院生、ポスドクター、教員などです。招へいの場合には原則として日本に初めて滞在することになる40歳以下の方が対象となり、オンライン交流の場合には来日経験は問いません。

6. その他

さくらサイエンスプログラムについては、ウェブサイトやFacebook、YouTubeを通じて最新情報を発信しています。また、ウェブサイトに掲載の「活動レポート」については、過去に採択した交流計画に関し、受入れ機関や招へい国、招へい者所属機関の属性（大学・高校・高専など）、コース名を入力することで簡単に報告を検索できます。ぜひご覧ください。

- ・ウェブサイト：<https://ssp.jst.go.jp>
- ・Facebook：<https://www.facebook.com/sspjapan>
- ・YouTube：https://www.youtube.com/channel/UCTpHtASQ7JzM2Vh683D_uPQ/featured

以上